

2020（令和2）年度 広島経済大学 免許状更新講習シラバス  
【学習指導要領の改訂の動向と、学校における危機管理上の課題（選択必修領域）】

講習の名称	学習指導要領の改訂の動向等
実施日時	2020年8月9日（日）9：00～10：40、10：50～12：30
担当教員	胤森 裕暢
講習の狙い	社会の変化に伴う今後の教育政策の方向性を理解するとともに、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、子どもの実態に即した学習指導を行う資質の向上を図る。
講習方法	講義形式とする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>改訂される学習指導要領の意義及び総則、各教科等の趣旨を理解することができる。</li> <li>近年の教育改革の動向について、法令の改正や中央教育審議会の審議経過も踏まえて理解し、現実の学習指導のあり方に適用させ考察することができる。</li> </ul>
講習内容	<p>教育基本法・学校教育法等の改正に伴い、学習指導要領改訂が進んできた。これは、知識基盤社会・グローバル社会とよばれる現代社会に生きる子どもたちに本当に必要な力とは何か、という問題意識により議論されてきていることのあらわれである。</p> <p>本講習では、学習指導要領の改訂等、国の教育政策の観点から近年の教育改革の動向を明らかにする。なおその際、子どもの実態に即した議論となるよう具体的な実践事例等を取り上げ、理解を深める一助としたい。</p>
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配付する。
成績審査	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。選択必修科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
備考	キーワード：教育基本法、学校教育法、学習指導要領、中央教育審議会、PISA 調査、生きる力、知識基盤社会、グローバル社会、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得、言語活動の充実、社会参画、教育振興基本計画、主体的・対話的で深い学び、カリキュラム、マネジメント、開かれた教育課程、学習評価

講習の名称	学校における危機管理上の課題
実施日時	2020年8月9日（日）13：20～15：00、15：10～16：50
担当教員	餅川 正雄
講習の狙い	新しい時代の学校安全とクライシス・マネジメントに関する基本的課題への理解を深め、危機対応の基本原則について、危機発生前と危機発生後の二つに分けて考察するとともに、行動レベルの教員の役割と危機管理マニュアルの見直しの視点を確認し、危機対応の実践力を修得する。
講習方法	講義を中心として展開する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の生命・安全を脅かす学校の実践的な危機とは何かを検討することで、学校のクライシス・マネジメントに関する教員の課題を指摘し、生徒への指導の在り方を説明できる。</li> <li>危機の発生を予測した組織的な事前対応と危機発生後の事後対応について考察し、その基本原則と教職員の具体的な役割を説明できる。</li> <li>危機対応実践マニュアルの内容はどのようなものが必要であるのかを実例をもとに検討し、実際に活用できるマニュアルを作成するための見直しのポイントを3つ以上あげることができる。</li> </ul>

講 習 内 容	<p>学校の重要課題は、生徒の知育を中心とした健全な心身の成長・発達を促進することである。この課題を達成するためには、学校の安全管理の徹底が大前提である。つまり、生徒の尊い生命と安全を守ることが学校教育の最優先課題である。学校の危機が年々深刻度を増している今日、学校の教職員が学校危機に関する全般的な知識と危機対応の実践力を修得しておくことが、最優先事項であると言える。そこで、本講習においては、以下に示した二つの内容を講義することで、教師の根本的な使命を確認し、命の尊さを実感する確固たる教育理念に徹した学校のクライシス・マネジメントへの積極的な取り組みを促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• これまで全国の学校で起きた実際の事件・事故を検討し、「児童生徒の大切な命を守り、安心して学べる環境をつくる」というクライシス・マネジメントのあり方と基本原則について解説する。</li> <li>• 学校で作成した「危機管理マニュアル」の利用されていないという現状を指摘し、すべての教職員の頭の中にマニュアルができあがっていないと、組織的な行動できないことを理解したうえで、マニュアルをどのように見直したら活用できるのかという視点から受講者とともに考察する。</li> </ul>
教科書・教材・参考書	<p>教科書：特になし。  教材：講習に必要なレジュメや資料は当日配付する。</p>
成 績 審 査	<p>筆記試験の結果により評価する。  評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。</p>
修了認定の方法	<p>科目毎の履修認定は行わない。選択必修科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。</p>
備 考	<p>キーワード：クライシス・マネジメント、危機管理マニュアル、学校安全、組織的対応</p>